

# 鹿児島県立農業大学校

## 畜産学部 肉用牛科の概要

令和8年5月



子牛班



生産班

48期生（2年生）



肥育班



# 肉用牛科の特色と学生の経歴

## 肉用牛科の特色

将来の肉用牛経営を担い、即戦力として活躍できる人材の育成を目標としています。

2年間で、子牛の生産・育成・肥育に関する実践的な技術と知識だけでなく、牛の餌となる飼料作物栽培及びそれに必要な農業機械の操作技術についても学びます。



## 現在の在学状況(定員25名)

学年	男	女	計
2年生 (48期生)	21 (17)	3 (3)	24 (20)
1年生 (49期生)	16 (12)	9 (7)	25 (19)

※( )内は農業系高校卒

# 肉用牛科の主な行事等

月	1年次	2年次
4月	入学式（オリエンテーション）4/8	始業式
5月	トラクター研修（単体）5/18～23 農場引継ぎ（開始）	
6月	就農相談会6/7 校内体育大会6/11 トラクター研修（けん引）6/15～19 土日農場引継ぎ（開始）	就農相談会 農場引継ぎ（終了）
7月	経営プロジェクト計画検討会 研究プロジェクト計画検討会	経営プロジェクト実績発表会 国内研修 家畜商講習会
8月	夏休み（農場管理当番）	
9月	九州地区農大親善体育大会（鹿児島） 9/10～11	九州地区農大親善体育大会（鹿児島） 研究プロジェクト実績発表会
10月		長期農家留学研修（県内40日間）
11月		
12月	農大祭12/12	農大祭12/12 校内プロジェクト発表会 2級削蹄師認定講習会・試験
1月		家畜人工授精師講習会
2月		退寮式
3月	学年終了	卒業式

農場担当

農場担当

# 肉用牛科履修科目一覽

科目名		1年	2年	AI必須
教養科目	人間関係論		●	
	くらしと法律		●	
	体育	●	●	
	外国語（英会話）	●	●	
	情報処理	●		
共通科目	農業経営基礎	●	●	
	農業簿記	●	●	
	農業気象概論		●	
	農業機械利用Ⅰ	●		
	農業機械利用Ⅱ	●		
	農業機械応用	●		
	農業概論	●		◎
	環境保全型農業		●	
	農産物の安心・安全		●	
	土壌肥料基礎	●		
	農業法人		●	
	農業協同組合とリーダー		●	
	GAP概論	●		
	6次産業化論		●	

科目名		1年	2年	AI必須
専攻科目	家畜栄養	●	●	◎
	家畜飼養管理		●	◎
	畜産施設		●	
	家畜育種	●	●	◎
	家畜解剖Ⅰ	●		◎
	家畜解剖Ⅱ	●		◎
	家畜生理	●		
	家畜繁殖	●	●	◎
	飼料作物	●	●	
	家畜衛生	●	●	
	家畜人工授精	●		
	畜産環境保全	●		
	肉用牛経営各論	●	●	◎
	畜産流通加工	●		
	畜産政策		●	◎
	生物工学総論	●		◎
	受精卵移植		●	◎
	家畜登録審査	●		◎
	卒業論文	●	●	
	生物工学実習	●	●	◎
	専攻学習	●	●	◎
	農家留学研修		●	
	スマート農業概論	●		

# 肉用牛科で取得可能な資格等

- (1) 大型特殊自動車運転免許（農耕用）
- (2) 毒物・劇物取扱者資格
- (3) 危険物取扱者資格
- (4) 大型特殊自動車けん引免許（農耕用）
- (5) 家畜商免許資格
- (6) 家畜人工授精師免許資格(牛)
- (7) 2級牛削蹄師
- (8) フォークリフト講習
- (9) 小型車両系講習
- (10) 玉掛け講習
- (11) アーク溶接
- (12) 小型移動式クレーン
- (13) 農業簿記検定 等



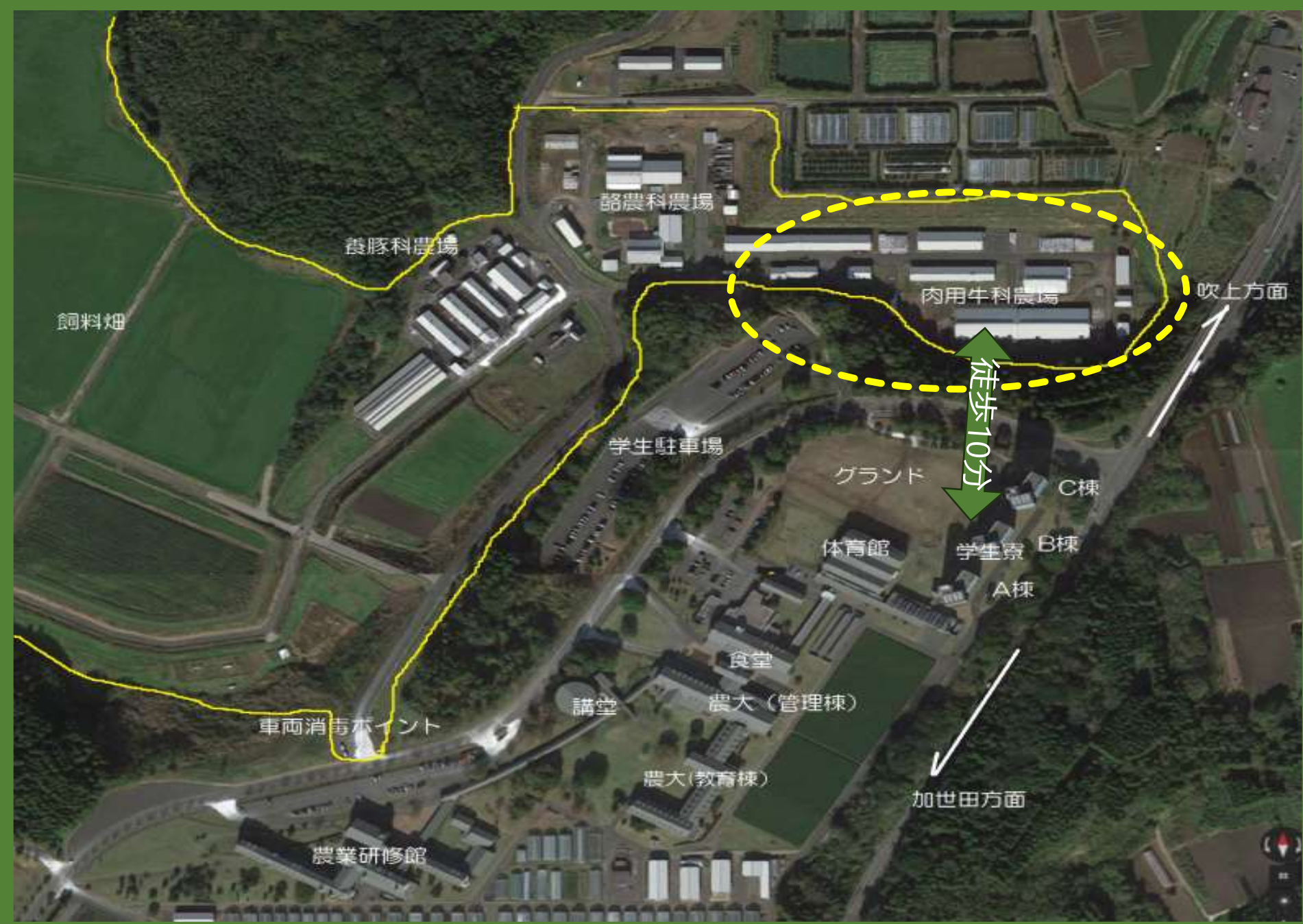
# 肉用牛科の卒業生進路

進路区分	45期	46期	47期
就農（自営, 法人）	14	17	17
研修（研修後就農）	0	0	0
就職 （農業団体, 企業, 公務員）	5	6	5
進学（研究科, 4年制大学）	5	1	2
計	23	24	24

毎年、多くの学生が就農（自営，法人就農）し，肉用牛経営を担う即戦力として活躍しています。

その他，畜産関連の技術員として就職，4年制大学への3年次編入，畜産研究科への進学など多様な進路選択が可能です。

# 農業大学校と肉用牛科農場



# 畜産学部 肉用牛科施設



# 農場実習の意義

- ・ 農業大学校畜産学部肉用牛科の学生を教育するための実習，研究等を行う農場を管理運営している。
- ・ 農場において，講義等により学んだ理論・知識や技術を用い，学生自ら肉用牛の繁殖から肥育までの飼養管理や飼料作物の栽培管理，糞尿処理等の作業を行う。
- ・ 肉用牛農場の管理運営を実践することにより，肉用牛経営に必要な技術習得と就農等に向けた意欲や経営者意識の醸成を図る。
- ・ 学生が各々課題を設定して調査研究活動に取り組むことにより，課題解決能力の向上を図る。

# プロジェクト学習

## 経営プロジェクト

○講義，研修等での学習を農場で実践し，

「飼養・栽培技術習得」  
「農場の運営の仕方」  
「経営管理技術」

を学ぶ。



## 研究プロジェクト

○知識技術をより深めるため，

- ・ 学生個々が課題を持ち，
- ・ 調査や試験を行い，
- ・ 分析し，
- ・ 結果をとりまとめ，
- ・ 発表する。



# 農場実習の体制

## 飼養頭数

(R8.4.1 現在)

生産牛	育成牛	子牛	肥育牛	計
35頭	9頭	24頭	41頭	109頭

## 飼料畑

約7ha

夏：白ヒエ

冬：イタリアンライグラス

飼料確保目標

ロールベールサイレージ 年間約300個（1個420kg）

**農場実習期間**：7月から翌年6月までの1年間

## 専攻班

生産班，子牛班，肥育班に分かれて飼養管理と経営プロジェクト，研究プロジェクトに取り組む。

※ 飼料班は希望者により編成（任意）

専攻コース	48期生（2年生）	47期生（卒業生）
生産コース	9	8
子牛コース	8	7
肥育コース	7	9

## 農場・副農場長



- 1 農場管理運営総括
- 2 月間農場管理の運営計画作成 と連絡作業
- 3 副農場長は農場長を補佐する

### 生産班

- 1 飼養管理
- 2 繁殖管理  
発情観察  
人工授精,  
受精卵移植  
妊娠鑑定  
分娩管理
- 3 衛生管理
- 4 経営管理

### 子牛育成班

- 1 飼養管理  
人工哺乳  
育成管理
- 2 衛生管理  
ワクチネーションプログラム  
子牛下痢予防プログラム  
消毒法
- 3 経営管理

### 肥育班

- 1 肥育牛管理
- 2 給与技術,  
防暑防寒技術  
の習得
- 3 疾病の早期発見  
早期治療
- 4 牛群管理, 素牛  
選定技術
- 5 産肉・肉質等級  
知識の習得
- 6 糞尿処理

### 飼料班

- 1 施肥等の肥培管理  
技術
- 2 作付時期および  
収穫時期の検討
- 3 安定した飼料生産  
技術の習得
- 4 飼料栽培調製技術  
の習得
- 5 作業体系および機  
械利用の習得

# 実習等の様子



人工授精実習



発育調査



削蹄講習会



飼料作物収穫実習

# 実習等の様子



分娩管理実習



下痢子牛のふん便検査



育成牛の管理(畜産部)



自家産牛の食味試験

# その他行事



農大祭(自家産精肉の販売)



校内体育大会



校内プロジェクト・意見発表会

# 特色ある教育活動（令和7年度受賞者紹介）

## 鹿児島県畜産共進会にて入賞

県内各地の予選を突破した精鋭達73頭が集結した令和7年度鹿児島県畜産共進会。肉用牛科からは、同一種雄牛産子3頭一組でその改良成果を競う「父系群区」に鹿児島中央地区代表として1頭を出品し、最優秀賞4席に入賞しました!(^^)! 本牛は令和6年7月生まれの農大産で、出生時から哺育・育成と手をかけてきた学生たちには特にうれしい結果になりました。



# 特色ある教育活動（令和7年度受賞者紹介）

## 農業大学校全国プロジェクト・意見発表会（九州ブロック代表）



### ○意見発表の部

特別賞2位 外山さん

### ○プロジェクト発表の部

優良賞 正岡さん、上地さん



# 特色ある教育活動（令和7年度受賞者紹介）



## 【毎日農業記録賞受賞】

### ○一般の部

入選 松本さん



## 【ヤンマー学生懸賞論文・作文受賞】

### ○論文の部

優秀賞 1グループ4名

梅山さん、日高さん

川崎さん、外山さん

### ○作文の部

銀賞(2席) 1編 古屋敷さん

銅賞 2編 杉山さん、寺地さん



47期生 (R8,3卒業)

仲間と学び、技術と人間力を育てる2年間。  
ここから、それぞれの未来へ。！